

# 海外派遣留学プログラム 月間報告書

IADE - LISBON, PORTUGAL

課題はファイナルプレゼンテーションだけを残し冬休みに入りました。クリスマスシーズンのポルトガルはいつも以上にとても幸せな空気に満ちています。2018-2019, 意識した時にはすでに年を越していた。そんな慌ただしい1ヶ月、そして苦しい年末でした。ただ一つ、人の優しさを今までで一番感じることもできた時期でもありました。

*No image due to broken phone...*

# STUDY

授業における進捗

*Communication Design, Production Design, Visual Design*



完全燃焼した友人は未だそのままですが、以前より少し手伝ってくれるようになりました。個人でやろうと割り切らずグループワークとして辛抱強くやった甲斐を少し感じられました。彼も私もちょっとした成長です。

Visual Design の授業では、引き続き進めていた MAP のスクリーンプリントもステッカーではないものの完成し、大学内で多く評価を得られました。具体的な評価はなく、いいね！というのがひとつこちらのデザインに対する異なる姿勢の現れかなとも感じました。

Production Design の授業では学部 1 年以来、まさかのチェスデザインが再び課されモデリングを久しぶりにしっかりと触れました。

フィンランドの友人のもとを訪れた際にもものづくりの環境を目の当たりにし、ものを形作ることに対して改めて興味を持つことのできた 2018 年の終わりでした。その後すぐに全て吹き飛ばすトラブルがあったのですが。。。

# LIFE

## 学外生活を通じての学習

*Trip to Finland, Lost my passport, How to deal with troubles*

*No image due to broken phone...*

何と言っても 12 月はクリスマスと年末のカウントダウンが一番のハイライトです。と言いたいところなのですが、何より一番自分にとって大きかったことはフィンランドでのパスポート紛失でした。

普段パスポートは取り出さない私ですが、お酒規制ゆるゆるのポルトガルとは異なり、バー等に行った際に必ず身分証が必要になるということでチャックがついた胸ポケットのすぐに出せる場所に入れていました。冬のフィンランドは午後 3 時でも薄暗く、街を歩いている時、もしくはお店でカードを取り出した際に落としたのでしよう、家に戻ってからパスポートの紛失に気がつきました。翌日、年末で閉まるお店もありましたが行ったお店全てに電話をかけ、店に足を運び、交番に届いていないか聞きましたがダメでした。

年末に加え週末が重なり、警察は空いておらず電話も繋がらない。これによって紛失届も提出できず非常に悩んだのですが、友人に今できることがないなら仕方ないと年越しのカウントダウンに向けてリフレッシュにサウナへ連れて行ってくれました。

友人のクラスメイトの家で開かれたカウントダウンパーティーは、年越しの時間とともに極寒の屋外へ飛び出し丘に登り、花火を見るというものでした。寒かった。

そして何より、困った時・トラブルに巻き込まれた時は【今すぐにできることのリストアップと迅速なメール・電話・最悪の事態を想定した状況の整理。そしてそれが一通り終わってからは、しっかりとリフレッシュすることが非常に重要】です。これは確実に言える経験談です。

その後はポルトガルのアメリカ大使館に連絡を取りながら、フィンランドのアメリカ大使館・日本大使館を行ったり来たり。ただし、緊急時のパスポート再発行は最短で戸籍謄本を後日郵送の条件の元、コピー提出によって 2,3 日で再発行が可能です。

アメリカビザはパスポート紛失とともにアメリカ大使館へ連絡。その後オンラインフォームの再記入、インタビュー申請先の現地アメリカ大使館へメール。そして予約ページの My dash board から [Expedite] をクリックし、緊急面接日をうまくいけば申請することができます。

海外のアメリカ大使館でなんとかなるくらいなので、日本ならチャチャっとできるはず。渡航先でどうしいいのかパニックになったら海外留学支援室へ連絡をしてみてください。

おそらくすぐに答えてくれると思います。